

## CRおおとろ蕪 栽培のポイント



### ■作型

秋まき栽培： 9月中旬～10月上旬まき

徐々に気温が下がっていく時期になるため栽培には最も適した時期。

冬まき栽培： 11月上旬～12月下旬まき1～3月どり。ハウス・トンネル栽培

播種から収穫までの栽培期間が最も長い作型。

春まき栽培： 1月上旬～3月中旬まき3～5月どり、ハウス・トンネル栽培

### ■圃場準備

耕土が深く、やわらかな圃場を好む。排水不良地は排水対策を図る。

### ■施肥基準

10アールあたり完熟堆肥2t、苦土石灰100kg

窒素、リン酸、カリは成分量で各12-15kg程度

肥料は播種の10～20日前には全面にすきこみ馴染ませる。

### ■播種

条間15cm株間10-12cm程度に播種する。覆土は1cm程度にする。

気温が高い時期は広め、低い時期は狭めにする。

播種後は水管理をしっかりする。

乾燥を防ぐために白寒冷紗やモミ殻、切りワラをひくと良い。

### ■ハウス・トンネルの換気(冬・春まき栽培)

天気の良い日はハウス・トンネルのサイドを空けて湿度を下げ

白さび病等の病気の予防を行う。また低温にあたることで株を丈夫にする。

### ■収穫

根の直径(抽根部)が小カブは5-7cmになったら収穫する。

(CRおおとろ蕪は直径2cm程度でも尻が丸く張るため、ミニカブ収穫も可能)

収穫が遅れると、スが入ったり、割れたりするので適期収穫する。

また春先の収穫では晩抽性品種でも抽苔の恐れがあるため早めに収穫する。